

## 旧統一教会 内部文書

# 山谷氏 教団が重要視か



山谷えり子  
元国家公安委員長

自民党が一度にわたり発表した世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と所属国會議員との接点調査では、山谷えり子元国家公安委員長の名前は公表されなかつた。山谷氏を巡つては専門家から、教団が推し進める政策に欠かせない存在として、安倍晋三元首相と同様に重要視されていたことを相次いで指摘されている。

「山谷先生、安倍先生なくして私たちのみ旨（目的）は成就できません。『山谷えり子』と一枚目の投票用紙に記入することを何度も何度も徹底していく下さい」。元参院議員でジャーナリストの有田芳生氏が入手したとする教団内部文書では、二〇一〇年参院選で安倍氏と並び立つ存在として山谷氏への支援が呼びかけられていた。

文書では教団が重視するジェンダーや青少年の問題を巡り、山谷氏の存在が「なくてはならない」と説明。当時の民主党政権で男女共同

## 政策推進へ「投票徹底」

山谷氏は九月、ツイッターム」で事務局長を務めた。山谷氏は「旧統一教会の働きかけや影響はなかった」とする声明を発表。事務所は教団側から選挙支援を受けたおり、依頼したりしたことはない。（内部文書についてコメントする）とはない」としている。教団は「コメントできない」とし、それとの文書作成に関与したとみられる関連団体も取材に回答していない。

参画社会の実現が進み「厳しい状況が予想される」とし、「全国あげてお願ひする形になる」と訴えていた。

シャーナリストの鈴木エイト氏が「教団内部文書」として明らかにした〇五～〇六年ころの文書では、男女共同参画社会基本法に反対する趣意で「ジョンダードいう文書を使用させない」「安倍晋三官房長官と山谷えり子内閣府政務官でチェックできるように関係省庁、議員に積極的に働きかける」と記載があった。山谷氏は国会で「ジョンダーフリー」という言葉に否定的な立場で何度も質問。安倍氏が座長だった「過激な性教育・ジョンダーフリー教育実態調査プロジェクトチー